

令和8年度
事業計画書

〔 自 令和 8年4月1日
至 令和 9年3月31日 〕

公益財団法人 農林業公社しんしろ

令和8年度 事業計画

(期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日)

昨年からの米需給の乱れにより米価の高騰が続き、今後の需給調整による価格の行く末が懸念されています。生産現場では生産者の高齢化と担い手不足という構造的な課題は変わっていません。また、気候変動への対応、環境配慮への関心、スマート農業技術の実用化が進みつつあります。

特に中山間地の水田においては、地域の生産条件に応じた対策が必要で、これまで以上に日本型直接支払い制度を活用した多面的機能の発揮の促進を図るための共同活動や中山間地域の農業生産活動への支援が必要となってきます。

新城市で作成された地域計画を核として、目標地区に沿った農地の集約化および集落外からの担い手の誘致に加え、新たな就農者の人材育成を進めなければなりません。また、農地の面的整備と併せて既整備農地の用排水・暗渠の再整備を進めるとともに、スマート農業技術に向けた機械導入も進める必要があります。西田原地区（作手）及び塩瀬地区（鳳来）において圃場整備が実施されることとなり、他地区においても再整備が計画されつつあります。今後は過去に圃場整備が実施された地区においても、施設の老朽化に対する再整備を積極的に行い、生産意欲を支える必要があります。

昨年度、地域計画が策定されましたが、分散策圏が多く集約化に向けた継続的な見直しが必要であることから関係機関とともにブラッシュアップを行います。

新たに水田経営を目指す経営体も現れており、地域計画に基づき既存の担い手と併せて面的集積を念頭に進めていきます。

新規就農者の確保については、資材高騰の影響により栽培施設や農業機械等にかかる費用が上昇し、開業に厳しい状態であることから、既存の施設を活用した第3者継承や親元就農を含めて支援を行います。

種苗等生産供給事業の内、菌床ブロック生産においては、使用年数が経過した設備機器等の計画的な更新と修繕を行います。また、自然薯一本芋生産においては、既存施設を改装した地域増殖圃に移転し、安定した優良種苗供給に努めます。自然薯原々種むかご栽培においては、愛知県下主産地増殖圃場向けの優良種苗安定供給に努めます。

農林産物生産事業では、天候の変異への対策を行い、自然薯栽培や菌床しいたけの安定した収穫量や秀品果実の獲得に向けた栽培技術の普及実践に貢献します。

行政、JA、関係機関との連携をさらに強化し、公益財団法人としての機能を発揮した地域農業の振興及び発展に努めます。

実施計画内容

1. 農地利用集積に関する事業

農地中間管理機構からの受託団体として事務を担い、地域計画に基づき面的集積を念頭に担い手等への集約を進める。

担い手と地主・集落が協力し、優良農地の維持を目指し、地域や担い手等の意向を把握し地域計画の見直しを継続します。

中間管理権設定目標面積 63.8ha (新規及び更新)
(中間管理再貸付面積 146.1ha)

2. 地域農業者の支援に関する事業

(1) 農作業受委託に関する事業

ア. 農作業受委託事業

農地所有農家から作業委託を受け、春作業、秋作業、耕畜連携を見据えた堆肥散布作業など、管内営農組織と連携して小規模農家の支援と優良農地の保全を図る。

作業内容

作業内容	計画面積	公社	委託
耕起	3.0ha	○	○
代掻き	1.9ha	○	○
田植え	2.9ha	○	○
育苗	1,400枚		○
畝立て	0.3ha	○	
刈取り	8.8ha	○	○
採種刈取り	8.3ha	○	○
乾燥調整	1,800俵		○
堆肥散布	13.0ha	○	

(実施計画)

- ①各種農作業を担い手農家に再委託する。
- ②委託できない作業は、直接公社が行う。
- ③採種ほ場の刈取り作業を受託する。
- ④地力増進の為の堆肥散布を行う。

イ. 農業用機械賃貸事業

公社研修修了者及び農業塾修了者等を対象としてレンタルを行う。

レンタル機種 管理機・トラクター・バックホー等

(2) 担い手育成供給事業

ア. 就農相談会への協力

マイナビ名古屋、新城市アグリチャレンジ等、大都市並びに近隣都市での就農相談会、現地説明会に協力していく。

イ. 新規就農研修生受け入れ

担い手確保育成総合支援計画に基づき、公社が愛知県の研修登録機関としてプランを作成、座学や機械研修等を交えながら委託農家での専門実習を行う。就農場所の確保、新規認定就農者として生産性の高い優良農業経営者を育成する。また、研修後の経営等へのフォローアップもしていく。

<u>研修生</u>	<u>13期生 候補者1名</u>
<u>研修期間</u>	<u>1年～3年</u>
<u>専攻品目</u>	<u>とまと、いちご、ほうれん草、菌床しいたけ</u>
<u>経営開始面積</u>	<u>20a</u>

(3) 農林産物の種苗等の生産・供給に関する事業

ア. 自然薯一本種芋生産

管内農家向けの自然薯「夢とろろ」の一本種芋栽培は、JA生産部会の委託を受けて作付けする。管内特産品としての基盤拡充に努め、高品質な種苗の生産供給を継続する。

<u>目標出荷数</u>	<u>4,550本 (次年度予定4,450本)</u>
	<u>(30g～100g)</u>

イ. 自然薯むかご生産事業

愛知県園芸振興基金協会の委託による「P-16」「稲武2号」の自然薯むかご栽培は、徹底した肥培管理に取り組み、無病・無菌むかごの継続供給に努める。

本作では、1畝作付けを増やす。

<u>品種</u>	<u>P-16 基核苗18本、稲武2号 基核苗248本</u>
<u>目標</u>	<u>むかご数 100,000粒以上 (粒径7.9mm以上)</u>

ウ. 菌床ブロック生産事業

菌床しいたけの種菌ブロック生産については、栽培者19名から受注しており5,300菌床減少する見込み。安定供給、品質確保を図り生産能力の高い菌床供給に努める。培養室の空調設備及び仕込棟のLED化を予定。

<u>生産目標菌床数</u>	<u>188,000菌床</u>
----------------	------------------

(4) 都市農村交流促進事業

山村の農業を通じ地域を理解しながら、管内農産物をPRし、交流を図る。

ア. 手づくり村「道の駅」と連携した収穫体験交流

トウモロコシ狩りの開催

<u>トウモロコシ栽培</u>	<u>8,000本</u>
-----------------	---------------

3. 農林産物の生産、販売等に関する事業

公社供給種苗の臨床栽培を通じ、自然災害への対策や管内環境での適応性、生育状況を観察し、併せて成果物の販売により収益増大を図る。

自然薯栽培においては、むかご生産と1本種芋の競合する作業を分散し、鳥獣害及び排水対策を行い収穫量を確保する。

菌床しいたけ栽培においては、前年より500菌床増やし、夏季の高温対策として、耐性の強い品種を増やし収穫量を確保します。

自然薯栽培	1,000本	目標収量250キロ
菌床しいたけ栽培	36,800菌床	目標収量 31トン

4. その他公社の目的達成に必要な事業

受け手のない中間保有農地の有効活用に努める。

目標面積 0.5a 直売用ポップコーン種の栽培、さつまいも栽培